

法面防災に関する講習会のご案内

補強土植生のり枠工

GTフレーム工法[®] 技術講習会 (山口地区)

CPDS
認定講習

参加費
無料

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当協会ではこの度、下記の内容にて技術講習会を開催することに致しました。

補強土植生のり枠工「GTフレーム工法」は、全面緑化できることを特徴としたのり面保護工であり、防災・景観保全を目的とした全国の斜面对策現場でご活用いただいております。

当日は、当工法の紹介のほか、特別講演として、地盤工学・地盤防災分野においてご活躍されてい
ますNPO応用斜面工学研究会副理事長 河内義文氏にご講演いただきます。

ご多忙中とは存じますが、是非ご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

なお、本講習は、(一社)全国土木施工管理技士連合会CPDSの学習プログラムとして認定されて
います。講習会の終了後に受講証明書をお渡しします。

敬具

日時 2025年 6月 24日 (火) 13:00~17:00 (12:40より受付)

会場 YMfg維新セミナーパーク (旧名称:山口県セミナーパーク) 2F 中研修室
山口県山口市秋穂二島 1062 TEL 083-987-1410

技術講習会スケジュール

時間	内容	講師
13:00~13:10	開会挨拶	
13:10~14:50	【工法紹介】 防災・景観保全を両立する法面保護工 「GTフレーム工法」設計・施工のポイント	補強土植生のり枠工協会 副技術委員長 森本 泰樹
14:50~15:00	質疑応答	
15:00~15:10	休憩	
15:10~16:50	【特別講演】 極端豪雨・巨大地震に備える土木技術者の役割 -地震・豪雨災害で分かったレジリエンス的視野の重要性-	NPO応用斜面工学研究会 副理事長 河内 義文
16:50~17:00	質疑応答	
17:00	閉会	

※ 建設系CPD協議会加盟の他団体でのCPD単位申請については、各団体の問合せ窓口または
当協会事務局までお問い合わせ下さい。

【お問合せ先】 補強土植生のり枠工協会 事務局
TEL/FAX 0584-81-6838 E-mail info@gt-frame.com
URL <http://www.gt-frame.com>

主催：補強土植生のり枠工協会

申込方法 参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはE-mailにてお申し込み下さい。

申込期限 2025年 6月 17日 (火)

(定員により申込みをお受けできない場合のみ、こちらからご連絡致します)

参加費 無 料

補強土植生のり枠工「GTフレーム工法」 技術講習会(山口地区) 参加申込書

補強土植生のり枠工協会 事務局 宛
FAX 0584-81-6838 E-mail info@gt-frame.com

申込日: 2025年 月 日

ふりがな お名前	勤務先	所属部署	電話番号

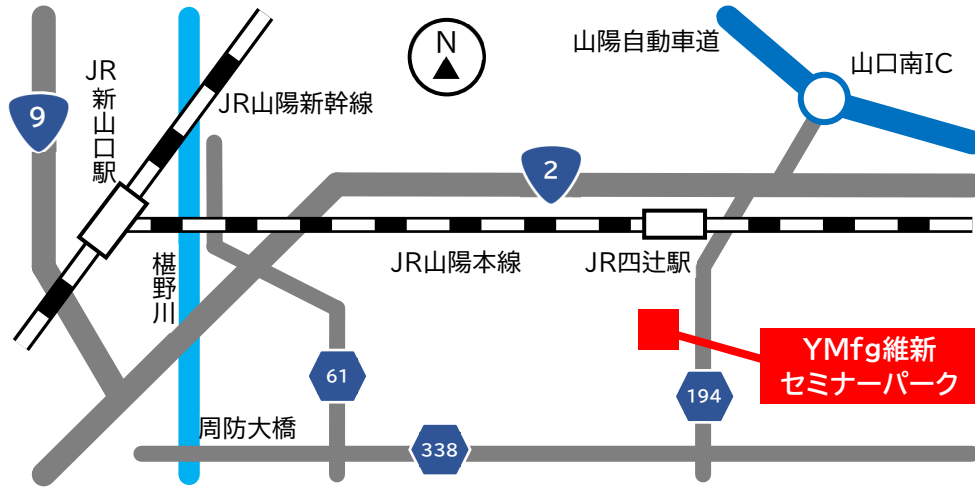
開催日時 2025年 6月 24日 (火) 13:00~17:00 (受付開始 12:40)

会 場 YMfg維新セミナーセンター (山口県山口市)
(旧名称:山口県セミナーセンター)

【お問合せ先】 補強土植生のり枠工協会 事務局
TEL/FAX 0584-81-6838 E-mail info@gt-frame.com
URL <http://www.gt-frame.com>

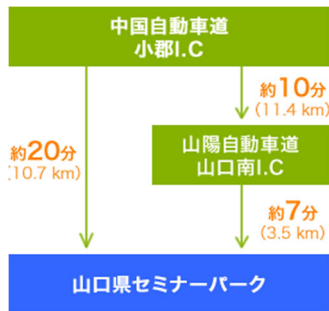
会場案内

会場 YMfg維新セミナーパーク (旧名称:山口県セミナーパーク) 2F 中研修室
 〒754-0893 山口県山口市秋穂二島 1062
 TEL 083-987-1410

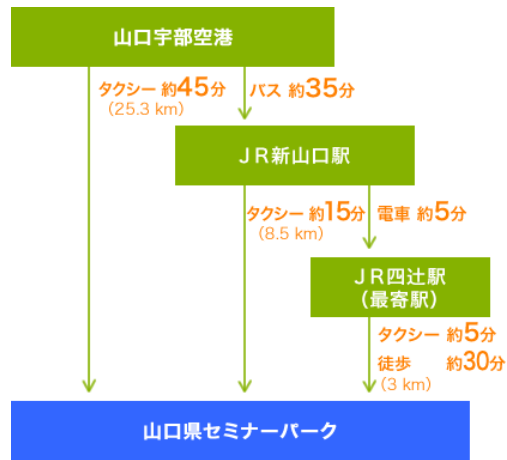


交通アクセス

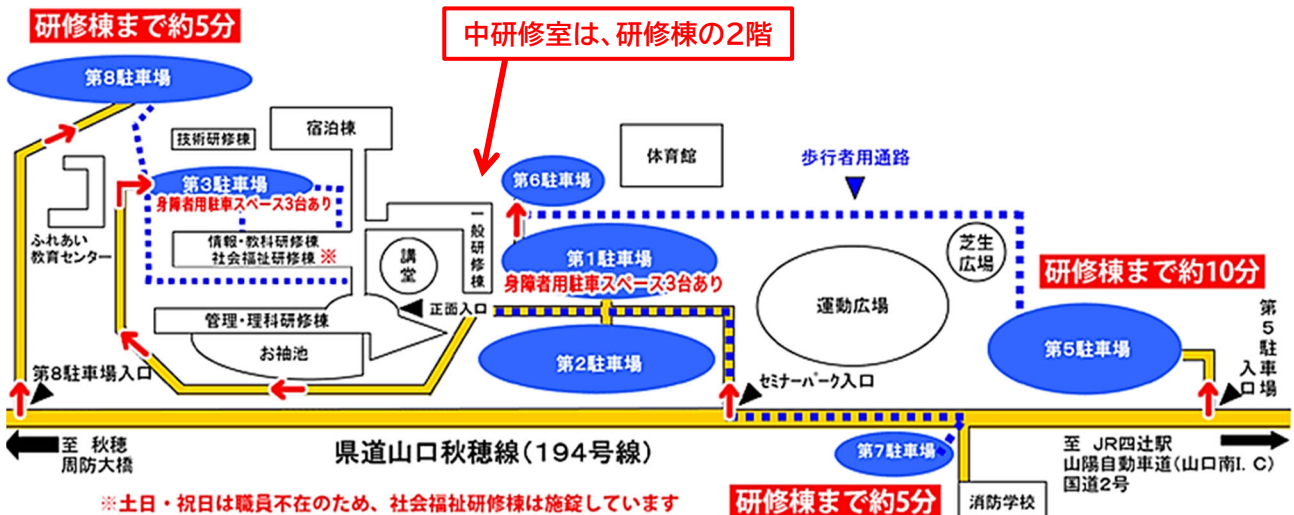
・自家用車でお越しの場合



・公共交通機関でお越しの場合



駐車場のご案内



※ 土日・祝日は職員不在のため、社会福祉研修棟は施設しています

特別講演

講演題目

極端豪雨・巨大地震に備える土木技術者の役割 －地震・豪雨災害で分かったレジリエンス的視野の重要性－

講演者紹介

河内 義文 (コウチ ヨシフミ)

株式会社ケイズラブ 環境・地質工学コンサルタント 代表取締役
NPO応用斜面工学研究会 副理事長
博士(工学)・IMF国際エンジニア登録
技術士 建設部門(建設環境), 応用理学部門(地質)
(公社)日本技術士会中国本部 副本部長

【 経歴等 】

昭和32年(1957年)7月 山口市生まれ
昭和56年(1981年) 鹿児島大学理学部地学科を卒業
平成5年 株式会社ケイズラブ設立(代表取締役)
平成17年(2005年) 国立大学法人山口大学理工学研究科博士後期課程修了

大学卒業後、フランスのシュランバルジュ社に採用され、オーストラリアで石油探査の仕事に就く。帰国後、建設コンサルタントに転進し、日本基礎技術株式会社でダム基礎地盤の諸問題(支持、透水等)の研究・調査・解析業務、地すべり・斜面安定対策の研究開発に携わる。

平成5年10月、35歳で独立しケイズラブを設立する。

ケイズラブは、「河内の研究室」、田舎の小さな研究室からグローバルな未来環境の夢を抱くことを基本理念として研究している。

専門は、地盤工学で、主に斜面崩壊を対象に豪雨・地震災害に起因する土砂災害と対策法に関して、解析・研究を行っている。地震災害では、2004年中越地震、2011年東日本大震災、2014年長野地震、2015年ネパール地震、2016年熊本地震の調査に参加している。

現在は、能登地震後に組織された「令和6年能登半島地震災害調査団」(公社)地盤工学会で「災害レジリエンス・斜面災害部門」調査団員を委嘱されている。